

## 木工事 共同住宅

### (1) 住戸タイプ内訳

タイプ・型	専有面積	戸数
A	95.6 m <sup>2</sup>	12 戸
B	86.6	12 戸
C		16 戸
D		16 戸

### (2) 施工方針

#### 1) 工事の進め方

1 階は材料置き場などに使用  
1 フロア 6 住戸なので 1 住戸  
その階が完了したら直上階の  
(大工は各階同じ位置の同じ  
1 住戸当たり標準で 13 日を  
1 階部分については、別の  
2 階の最初に施工する住戸  
また納まり関係等をよく打

#### 2) 墨出しおよび養生

墨出しは基本墨(レベル墨と  
トの墨は木工事施工者が出  
行う)  
床・框・柱・枠・額縁等の養生

#### 3) 現場加工

木工事の現場作業を少なく  
とする。  
出入口枠など、造作材は工場  
建設廃棄物の減量化に一役

#### 4) 木工事着手前の確認事項

床コンクリートに高過ぎる釘  
上階スラブからの漏水がある  
設備配管、ユニットバス配管  
設備床埋設配管の位置のマ  
作業床の清掃および水たまり部の処置

は 2 階からに入る。

6 人で施工する。

る。

ていくことになる)

まで 3.5 ヶ月の工程とする。

との取り合いや施工図で表しにくい箇所、  
を進める。

」で出し、間仕切り墨と床アンカーボルト  
施工する大工以外の墨出し大工が事前に

元請けで行う。

するために木材は可能なかぎり工場加工

行う。

### (3) アンカーボルト施工

アンカーボルトは、エポキシアンカーを用いる。

アンカーボルト施工は「組」が行う。(事前に引張試験を行う)

ピッチは間仕切@900、床大引@750 とする。

(4) 材料品質

- 1) 見えがかり面を有する木材は、日本農林規格材又は日本農林規格相当品とする。
- 2) ラワン材は、「製材の日本農林規格 (JAS) による防虫 1 種処理材」を使用する。
- 3) 木材の含水率は、現場搬入時に構造材 (下地材) 20%以下、造作材 18%以下とする。
- 4) 南洋材 (ラワン含む) は、日本農林規格防虫 1 種処理材とする。

(5) 木材および副資材の材質

1) 構造材・下地材 (見えがかり面を有する)

使用箇所	樹種	寸法	備考
土台・大引	米		荒木のまま
根太・際根太・束	米	40×36	上下面プレーナー
間仕切柱	同	36×36	対面プレーナー
胴縁	米	15×45	片面プレーナー
土台下パッキン	米	25×90	

2) 造作材 (見えがかり面を有する)

使用箇所	材種	寸法	仕上がり
出入口枠	米ヒ	施工図による	超仕上
浴室額縁	米ヒ	〃	〃
額縁	米ヒ	〃	〃
サッシ付き寄せ	米ヒ	〃	〃
巾木	ラワ	〃	〃
上り框	米ヒ	〃	〃
畳寄せ	米	〃	〃
付鴨居・廻り縁	〃	〃	〃
柱・半柱	〃	〃	単板貼り
押入れ前框・後框	〃	〃	超仕上
雑巾ずり	〃	〃	〃
帽子掛け	ラワン	〃	〃

3) 集成造作材

柱・半柱	台檜単板
敷居・鴨居	台檜単板
上り框	タモ単板貼り
中鴨居	杉集成材

4) 合板

含水率は、18%以下とする。

使用場所	種
畳下床	ラウ
押入壁	ラウ
〃 床	した
物入れ内部	ラウ
洗面床	フロ ンク
和室天井	

耐水等級
コンパネ
耐水 類
同 上
耐水 類
〇〇〇〇建材製

5) ボード類

使用場所	
間仕切壁	1
一般天井	1
和室天井	3

備 考
石膏ボード
〃
石膏テンパック

<https://www.sekouya.com>

6) 金物類

用途	品名	長さ	備考
大引固定用	アンカーボルト ナット	9 × 140mm	@750 以下
根太固定用		65mm	
床板固定用		45mm 38mm	合板、化粧フロア
枠固定用		75mm 65mm	ユニクロメッキ
付鴨居付固定用		50mm 45mm 38mm	ユニクロメッキ
サッシ額縁用		20mm	プラス(十字)
枠組立用		75mm 65mm	
畳下荒床用		45mm	
ボード張り用			ユニクロメッキ

鉄丸釘は JIS A 550  
組立、取付けに使用す  
釘の長さは打付ける材  
木ネジは JIS 81135  
け用には SUS304 の

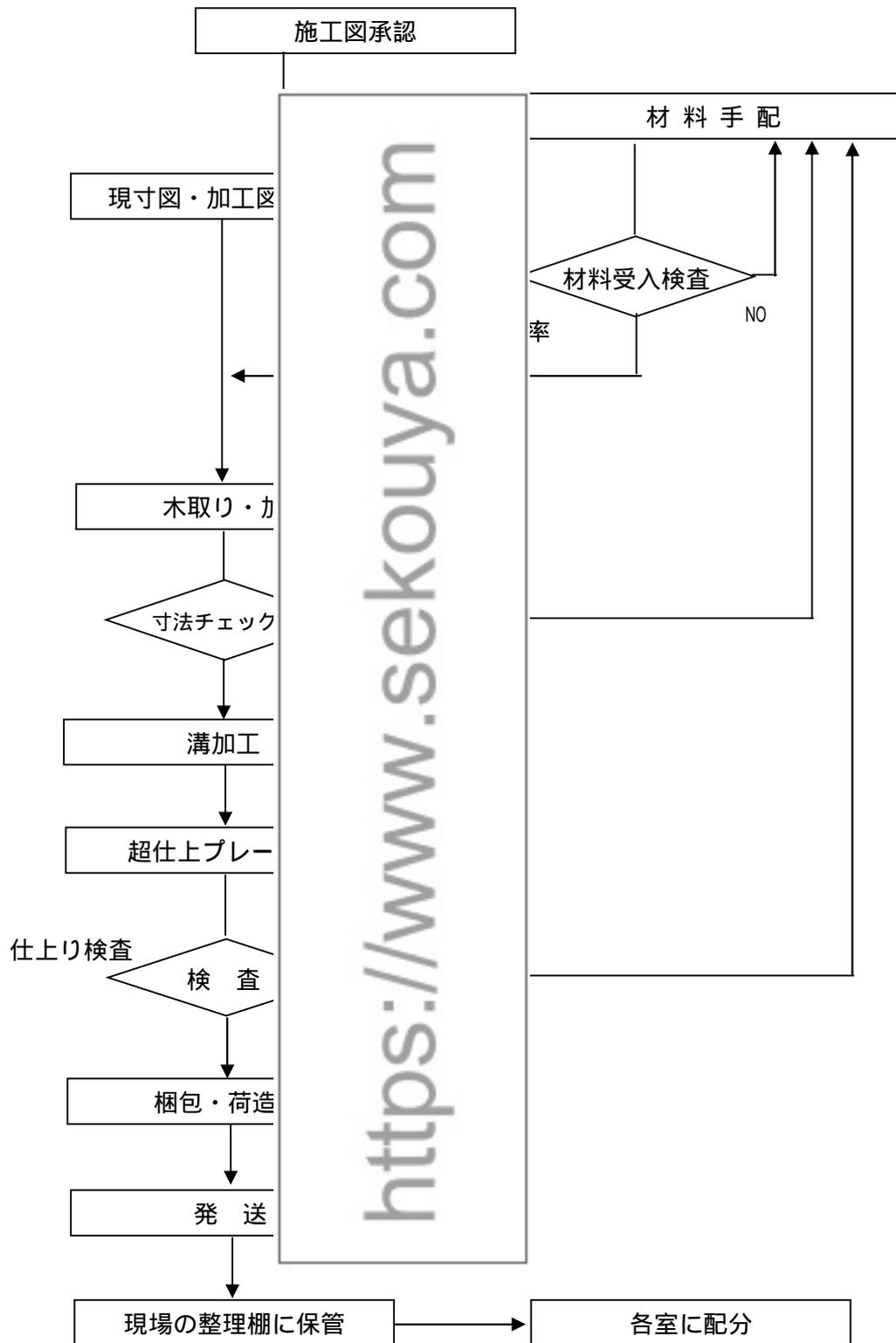
示品とし、下地材取付および造作材の  
SUS304 のステンレス釘を使用する。  
する。  
JIS 規格品とし、アルミサッシ額縁取付  
ける。

7) 接着剤

使用区分	商品名
コンクリート×木材	接着剤 セメダインコンクリメント A
木材×木材	セメダインホワイト 605
コンクリート×直ベニヤ	接着剤 セメダイン 515

木工用接着剤は JIS A5558 (空用木工用接着剤) による JIS マーク表示品とする。  
コンクリート用接着剤は JIS A5537 (木レンガ接着剤) による JIS マーク表示品とす  
る。

(6) 造作材の加工 フローチャート





( 8 ) 搬入および保管

1 ) 材料搬入

造作材の一次ストック場所は 1 階の指定したスパンとする。

単管パイプにて棚をつくり、種類別に仕分けして仮置きする。

野物 ( 構造材・下地材 ) は原則的には、搬入と同時に各戸に配置する。

不良と判定された材料は持

2 ) 荷揚げ

材料の荷揚げは人荷用エレ

ただし、荷揚げの日時など

工する大工が行う。

く。

3 ) 室内での材料保管 ( 二次保管

保管時に直斜日光、雨などが

作業のじゃまにならないよ

ない。

( 9 ) 施 工

1 ) 床組

a . 土台・大引

防腐剤は JIS X2439 によ

コンクリートに接する部分

大引レベル調整.....パツ

アンカーボルトは 2 度締め

( 第 1 回目 : 床下地組時、

大引の継手.....アンカー

する。

ンカーボルトにて固定する。

の上、両面スクリュー釘止めとする。

)( 最終日 ) 時

欠き継ぎ釘 2 本打ちとする。

b . 根太掛け

接着剤併用コンクリート釘

は @303 以下とする。

c . 根太

根太間隔 @360 ( 畳下 ) (

大引にスクリュー釘 ( L :

根太の継手.....原則とし

やむをえず継手が生ずる

添木する。

きわ根太下には、450 mm

スクリュー釘両面打ちとし、

束は、防腐剤を塗布し、きわ根太に釘打ち固定する。

d . 床板張り

工事中は仮張りしておき、最終日アンカーボルト 2 度締め後、本張りとする。

コンパネのジョイントおよび壁際取合いは 1 mm 程度の間隙をあけて張る。

( 床鳴り防止 )

フロア釘 45mm @300 とする。

e . 化粧フロア張り（洗面所）

根太に接着剤を塗布し、根太と直角に張る。

フロア釘 38 mmを雄実上より隠し釘打ちとする。

設備配管と床板との間はクリアランスを必ずとる。

床板張上がり後、体重をかけて踏んでみて、床鳴りしていないことを確認する。

2 ) 軸 組

壁厚が 60mm と薄いので

頭つなぎ材、土台材とも：

間柱取付けは 303 ピッチ、

電線管などの横配管は絶対

胴縁取付け：FL + 1 , 800

胴縁補強：各所建具戸当り

する。（位置は施工図によ

は十分留意する。

ーがけ、曲がりのない乾燥材を使用。

）おの釘 2 本打ちとする。

入れる。釘 2 本たすき打ち。

オル掛け、分電盤取付け部は、胴縁補強

3 ) 造作材取付

a . サッシ額縁

アングルピースとの隙間

アングルピースと接する

仕口は洋間はトメ、和室

サッシビスの曲がりおよ

回塗りとする（塗装工事）

にする。

b . 出入口枠および無目枠の取

固定金物を用いて固定す

取付け精度は  $\pm 1.5\text{mm}$  以

クリをつける。

c . 押入造作

中段の枠は、棚板じゃく

棚パネルの後枠は、上下

固定は前面より釘打ち込みする。

d . 天井回り縁

出入隅は止めとする。

壁ボードおよび天井ボー

e . 付鴨居・畳み寄せ等

付け鴨居は接着剤および

タタミ寄せの取付けは、450mm 以内に見え隠れからのつぶし釘打ちとする。

戸当りは接着剤を使用し、ステンレス釘打ち間隔 240mm とする。

砥の粉を詰める。

f . 付長押（コンクリート面）

木レンガをコンクリート面に張付け、そこへ付長押をパネル釘止めとする。

仕上げ代のない部分は、タル栓穴あけの上、取付ける。

g . 巾木

壁ボード張り後に取付ける。

出隅はトメとする。

4 ) ボード張り

a . 壁ボード張り

土台～頭継ぎまで1枚もの

ボードは突付け張りとする。

両面プasterボード張り

ボード釘を用い、接着剤を

釘頭がボード面より0.5

目立った目違いが生じない

隅部、天井取合い、木枠

使用し、中間ジョイントをつくらない。

位置をずらす。

に打込む。

調整しながら張る。

ない。

b . 天井ボード張り（和室）

ウラ棧付き既製化粧石膏

“手違いカスガイ”を用い

とする。

( 1 0 ) 残材処理

残材は、作業所の指定場所

( 1 1 ) 養生

造作材の養生は、次工程の作

固定のためのテープは、のり

（紙テープ、セロテープは禁

なくても施工できるようにする。

テープとする。

( 1 2 ) 自主検査および手直し

a . 工事中および完了後に木

b . チェックリストに基づき

を行ない結果を係員に提出する。

に手直しを行なう。

<https://www.sekouya.com>